

くらしのすまいりんぐ

地球と人に優しい家づくり・くらしづくりの情報広場

今月の話題

- | | |
|------------------|------------------|
| 1. 今月の話題 | ～お掃除機能付きエアコンの掃除～ |
| 2. 建築知識 | ～天井断熱で暑さを防ぐ～ |
| 3. 日本の風習 | ～十三夜～ |
| 4. 地盤改良 | |
| 5. 消費税 10% パート 2 | |
| 6. 辛口コラム | ～世界的なプラスチック規制～ |



今月の話題 ～お掃除機能付きエアコンも掃除が必要!?～

例年、エアコン冷房を使わない人も、今年の猛暑ではさすがにエアコンを使ったのではないでしょうか。

エアコン停止前に必ず送風モードにして、熱交換器や吹き出し口が結露しないように注意してきたのですが、近くから吹き出し口を見ると、熱交換と吹き出し口は埃とカビで真っ黒。

フィルターの自動掃除機能付きだったので、安心していたのですが…。**なぜ?**

そこで調べてみたところ、自動お掃除機能には大きく次の3種類がありました

- ① フィルターのみ自動お掃除
ex 三菱電機 霧ヶ峰Lシリーズ ほか
- ② フィルターの自動お掃除+抗菌コーティングされた熱交換器使用
ex 富士通 ノクリアCシリーズ ほか
- ③ フィルターと熱交換器の自動お掃除
ex 日立 Xシリーズ ほか



今年は、③のタイプをテレビ等で積極的に宣伝していました。

熱交換器を自動で洗ってしまうなんて、凄すぎる！と思っていましたが、

メーカー各社に問い合わせると、**結局プロの掃除は必要**になるだろうということが分かりました。

しかも**分解が面倒なので業者による掃除代が割高**になったり、**断られる**こともあるようです。



値段の安い自動お掃除機能のないタイプのエアコンは徐々に隅に追いやりられているようですが、考え方によってはシンプル機能のエアコンがいいのではないかでしょうか？



2018年10月1日発行
NO.0052
発行責任者：(有)文化舎東毛
〒376-0101
みどり市大間々町大間々1190-4
☎0277-73-4850

建築知識

～天井断熱で暑さを防ぐ～

今年のように猛暑に悩まされると、2階が猛烈に暑くなった家が多くあったはずです。そこで思わず屋根を睨みつけて、薄いカラースレートじゃなくて瓦葺にした方が良かったんだろうか、天井に十分な断熱材が入っていないのかな、だから屋根に照り付けた太陽で2階が熱くなるのだな、と誰しも思うものです。昔のことですが、地場工務店が建売した同じ家が並んでいるうちの1軒に知人が住んでいました。日頃から夏は2階が暑いとこぼしていたので、2階天井にセルロース断熱材を吹き込むことを薦め、レンタルマシンでDIY施工をやりました。ちょうど夏だったので、2階の変化を聞いてみたところ、変化なし！との事で大ショックでした。天井を断熱すると、太陽

で焼かれた瓦の熱が天井板に伝わり天井板が熱くなるのを止めて改善される筈。そこで、天井板の温度を測ってみると、隣の天井に断熱していない家とこちらの家の天井板温度を比較したのですが、どちらも同じでした。そんな馬鹿な！！

住宅全体の壁や窓の断熱力が弱いと、内壁や窓ガラスの内面が熱くなり、壁やガラス周辺の空気が熱くなってしまって上昇気流となつてついには2階に貯まってしまう為、天井だけを断熱しても効果がなかったことが分かりました。家を居心地よくするには、床も壁も窓も天井も、全体としてしっかりした断熱でくるむことが欠かせないです。



天井のセルロース断熱

壁のセルロース断熱

日本の風習 ～十三夜～

十三夜とは、旧暦の9月13日にお月見をする日本固有の風習で、今年は10月21日になります。中秋の名月である十五夜はあまりすっきりしない天氣が多いのですが、十三夜の夜は晴れることが多い「十三夜に曇り無し」という言葉もあります。



【別名】

- ✧ 「豆名月」「栗名月」：この時期に収穫される豆や栗などをスキと共に供えします
- ✧ 「小麦の名月」：この夜の天気によって翌年の農作の豊凶を占う地域があります
- ✧ 「女の名月」：福岡県の一部では、この日は女性が威張ってよい日だと伝えられています

【片月見】

十五夜だけ、十三夜だけ、をお月見することを「片月見」と呼び、縁起が良くないと言われています。ただ、その由来は遊郭の客寄せと言われているので、あまり気にしなくともよさそうです。



地盤改良

地盤改良は、しっかりとした住宅を建てるには大切なことです。

従来のセメント系柱状改良工法と HySPEED 工法があります。それぞれの特性を踏まえ自分にあったものを選びましょう。

■柱状改良工法

軟弱地盤が 2 メートル以上 8 メートル以下の深さの場合に用いられる方法で土の中にコンクリートの柱を造ってしまう工法。

・主な特徴

- 1. セメントの柱で地中から建物を支える地盤改良工法
- 2. 費用が安い
- 3. 地盤強度の維持

■HySPEED 工法

セメントなどの固結材を一切使わずに、碎石という天然素材だけを利用して軟弱地盤を改良する工法。

・主な特徴

- 1. 土壤汚染・地下水汚染ゼロ
- 2. CO₂削減量大
- 3. 地価下落なし
- 4. 液状化による建物被害低減効果
- 5. リユース・リサイクル



※性能や環境汚染

	HySPEED 工法	従来の工法
強化できる箇所	地面全体を締め付けるため、杭を入れた部分以外も強化できる	杭を入れた直上のみしか強化できない
耐震性	地震で揺れても碎石パイルが揺れについていくため影響がない	地震でせん断が発生すると、建物の重さを支えられなくなる
液状化への耐性	碎石パイルの細かな隙間から水圧を逃がすため影響がない	水圧を逃がせないため、周囲の地盤から水が噴き出してしまう
土地との相性	どんな質の土であっても問題なく使用できる	腐葉土の場合、セメントが固まらない
費用	60 万円～100 万円	60～80 万円 (引抜解体工事費別途掛かる)
六価クロムの発生	天然碎石しか使用しないため、一切発生しない	セメントを使用した工法の場合、発生する恐れがある
産業廃棄物発生	天然碎石は廃棄物として扱われないため、発生しない	セメントも鋼管杭も産業廃棄物とみなされ、撤去する義務が生じる
建て替え時の対応	地盤全面を強化できるため、建て替えや大規模なリーフォームをしてもそのまま使い続けられる	杭の直上の重量しか支えられないため、建て替えの際には再施工する必要がある

消費税 10% パート 2

9月号でも紹介しましたが、2019年10月に消費税が10%に引き上げられます。

しかし、中には消費税率が8%のまま据え置きになる品目もあります。

当初、軽減税率の取扱について、「軽減税率品目を購入するに際し、マイナンバーカードをかざし、事後的に還付される方法がいいのではないか」とか「軽減税率品目についても飲食品だけでなく日用品全般に拡大すべき」というようにさまざまな意見がありましたが、結果は以下のようになります。

■酒類・外食を除く飲食品

■定期購読契約に基づく週2回以上発行される新聞

「酒類・外食は10%」、「テイクアウトや宅配は8%だけど、ケータリング等は10%」とされているので、コンビニエンスストアやカフェ、飲食店などでは混乱が予想されるので注意が必要です。



辛口コラム

これまで人類は83億トンのプラスチックを生産、うち63億トンがゴミになり、その約2割だけがリサイクルか焼却されました。残りは最終的には微細化して海へ流れ込みます。前に世界最深のマリアナ海溝の底に住む生き物がプラスチックの破片（マイクロプラスチック）を取り込んでいました。これらは魚に食べられ、魚を食べた人間の体内に移り、やがて世界中の体内にプラスチックが留まるでしょう。しかも自然に分解しません。目に見えるレジ袋やペットボトルだけを見て、日本はキチンと始末しているから大丈夫と思うのは間違いです。困ったことに、プラスチックごみはリサイクルや回収では解決しません。道端に捨てられたタバコの吸い殻にはフィルターがあり、家庭の洗濯機の排水は衣料に入っているテトロンなど樹脂繊維が混ざっています。世界で丈夫で便利だからと後先考えずにやってきた



このツケが回り始めました。もはや世界的な大問題になっているのです。やっと気が付き始めた諸国は使い捨てのレジ袋などの規制を始めましたが、この重大さはもっととてつもなく大きく、ほんの始まりにすぎません。自然分解する素材とか、天然素材の利用拡大とかやることは多いのです。日本は対応が遅れていて、6月の先進7ヶ国首脳会議でも米国に従って削減数値目標を掲げた文書に署名を拒みましたが、トランプにへつらっている時ではありません。

